

# 中央公民館講座



## ミドル世代(40~60代)の女性向け! 「ウイメンズヘルスカフェ」



「女性の健康とセルフケア」をテーマに、ミドル世代の女性に特有の心身の不調について、講話や講師(保健師・助産師・看護師・薬剤師等)を囲んでのお茶会・お悩み相談などを通し、楽しみながら原因と対処法を学びます。これをきっかけに自分の心身のゆらぎや変化を見つめ直し、人生を快適に過ごす方法を一緒に学んでみませんか。

**日時等**▼下表参照(1講座から申し込み可)  
**対象等**▼村内在住・在勤の女性(各回15人)  
**受講料**▼無料 ※別途、お茶代・材料代等(1回あたり500~700円程度)がかかります。  
**その他**▼▽応募者多数の場合は抽選で決定します。▽受講の可否は、応募者全員に郵送でお知らせします。▽無料の保育サービス(2歳~小学6年生が対象)が利用できます。

**申し込み・問い合わせ**▼5月13日(火)から各回の申込期限までに、いばらぎ電子申請・届出サービスまたは、電話・来館(月曜日を除く午前9時~午後9時(日曜日は午後5時まで))で、中央公民館(☎282-3329)へ申し込みください。



▲いばらぎ電子申請・届出サービス

	日時・場所	内容	申込期限
①	6月19日(木) 午前10時~正午 中央公民館	講話「いつまでも美しく生きるために」・「更年期と薬の話」、お茶会・お悩み相談など	5月22日(木)
②	6月26日(木) 午前10時~正午 中央公民館	講話「大事なおっぱいの話」・「折れない骨と漏れない尿 ~骨粗しょう症予防と骨盤底筋体操~」、お茶会・お悩み相談、「いばらぎみんなのがん相談室」の紹介など	5月29日(木)
③	7月31日(木) 午前10時~午後1時 石神コミュニティセンター	講話「更年期を薬膳料理で乗り越えよう」、調理実習・試食会、お悩み相談など	6月26日(木)

村では平成26年度から、「地域社会と原子力」をテーマに、社会科学の視点でこれからのまちづくりを考える契機となるよう、若手研究者への支援事業を続けてきました。事業開始から10年目を迎えるにあたり、これまで支援した研究者からの報告や東海村へのメッセージを、リレーエッセーの形式でお伝えします。

【地域社会と原子力に関する社会科学支援事業】リレーエッセー

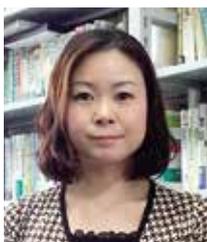
## 若手研究者からの メッセージ

### 地域の産業構造を知る

福知山公立大学地域経営学部准教授 三好 ゆう

東海村の皆さま、こんにちは。私は令和5年度に研究支援をいただき、東海村の産業連関表を作成しました。

産業連関表とは、地域経済の把握や経済効果を推し測る際の有効な手段として、近年、自治体(市町村)の間で注目を集めている統計データです。国や都道府県レベルでみると、現時点の最新版は、令和2年版の全国表、平成27年版の各都道府県表です。研究期間の制約上、「平成23年



版 東海村産業連関表」の完成にとどまりましたが、地域の産業構造における特定産業・特定企業の生産活動への依存、ならびに原子力を有しない小規模自治体との類似、が数値にて可視化されました。産業構造の転換が他地域より難しい一方、わが国全体に共通した普遍的な地域課題が内在しているのが、東海村の地域経済構造といえるでしょう。

今回作成した東海村産業連関表が、地域の担い手である皆さまのまちづくりや政策判断の一助になれば幸いです。今後、平成27年版の作成作業を進めていく予定にあります。2か年比較ならびに他地域との比較は、東海村だけではなく、原発あるいは原子力関連施設を有する他地域にとっても有意義だからです。

3月のシンポジウムでの研究成果報告では、多くの方々から聴講に来てくださり、正直驚くとともに大きな励みになりました。東海村の皆さまからいただいたご支援には、心から深く感謝しております。本当にありがとうございます。

報告書はこちら▶



【問い合わせ】産業政策課産業政策推進担当(☎282-1711 内線1269)